

# JFTC 「2008年度わが国貿易収支、経常収支の見通し」参考資料

2007年12月5日(水)  
 社団法人日本貿易会  
 国際・調査グループ  
 ( 3435 ) 5959

## 1. 通関貿易

項目	2006年度実績 (兆円)	【2007年度見込み】 (兆円)	【2008年度見通し】 (兆円)
<b>通関貿易収支</b>	<b>9.0</b>	<b>11.5</b> 過去7番目の水準	<b>16.1</b> <b>過去最高を更新</b> (22年ぶり86年度14.4兆円を更新)
輸出	77.5	85.7 過去最高を更新 (6年連続)	91.0 過去最高を更新 (7年連続)
輸入	68.4	74.2 過去最高を更新 (6年連続)	74.9 過去最高を更新 (7年連続)
(製品輸入比率)	57.3%	55.1% 前年度比 マイナス2.1ポイント	55.7% 前年度比 プラス0.6ポイント

### 【主な増減寄与品目】

2007年度

2008年度

#### 輸出 10.6% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+3.4	輸送用機器	14.1%
+1.8	一般機械品	9.3%
+1.5	原料別製品	12.6%
0.4	(科学光学機器)	-11.8%

#### 輸入 8.5% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+4.9	鉱物性燃料	18.1%
+1.2	原料別製品	12.1%
+0.8	電気機器	6.3%
0.4	(鉄鋼)	-7.6%

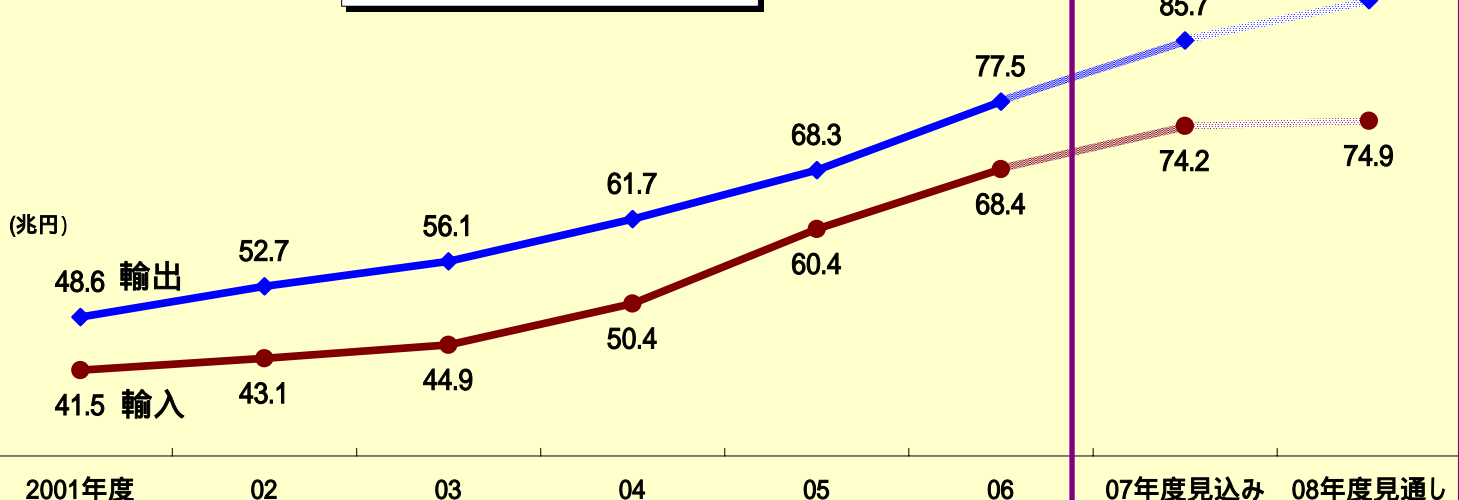
#### 輸出 6.3% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+2.4	輸送用機器	9.4%
+1.4	一般機械品	7.0%
+1.3	電気機器	6.4%
0.4	(鉄鋼)	-7.6%

#### 輸入 0.9% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+0.9	電気機器	6.8%
+0.5	化学製品	6.3%
+0.1	鉱物性燃料	0.4%
1.1	(原油及び粗油)	-6.1%
0.7	(非鉄金属鉱)	-30.2%

### 輸出入見通し(通関ベース)

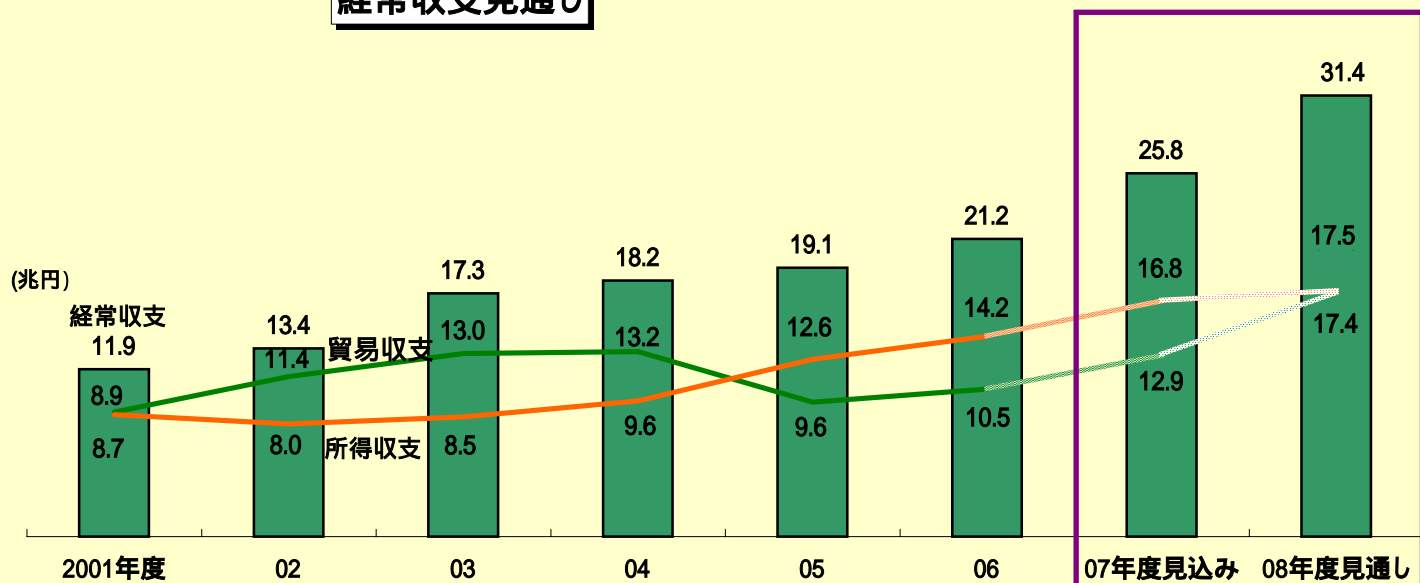


## 2. 経常収支 貿易収支は過去最高を更新し17兆円台へ、経常収支は6年連続過去最高を更新

項目	2006年度実績 (兆円)	【2007年度見込み】 (兆円)	【2008年度見通し】 (兆円)
貿易・サービス収支	8.2	10.3	15.1
貿易収支	10.5	12.9	17.4 <small>過去最高を更新 (10年ぶり98年度15.8兆円を更新)</small>
輸出	73.7	81.5 <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>	86.6 <small>過去最高を更新 (7年連続)</small>
輸入	63.2	68.5 <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>	69.2 <small>過去最高を更新 (7年連続)</small>
サービス収支	2.3	2.6	2.3
所得収支	14.2	16.8 <small>過去最高を更新 (4年連続)</small>	17.5 <small>過去最高を更新 (5年連続)</small>
経常移転収支	1.3	1.3	1.3
<b>経常収支</b>	<b>21.2</b>	<b>25.8</b> <small>過去最高を更新 (5年連続)</small>	<b>31.4</b> <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>

貿易収支は、通関統計ベースでは1986年以来22年ぶりに過去最高を更新、国際収支統計ベースでは計上方法変更により1996年度以降で過去最高を更新。

### 経常収支見通し



### 【「わが国貿易収支、経常収支の見通し」】

日本貿易会(会長 佐々木幹夫/三菱商事(株)会長)『貿易動向調査委員会』(14社)が作成。

平成19年度の委員長は伊藤忠商事(株)調査情報室 チーフエコノミスト 北井義久。

日本貿易会の貿易見通しは、委員会下の専門委員会に参加する7商社による商品積み上げ方式を特徴としている。

商品積み上げ方式により作成された通関ベースの輸出入見通しを、国際収支ベースに換算している。

1974年に開始以来、本年で34年目。

#### 日本貿易会 貿易動向調査委員会メンバー会社(社名五十音順・ は専門委員会)

伊藤忠商事(株)

岩谷産業(株)

JFE商事ホールディングス(株)

住金物産(株)

住友商事(株)

双日(株)

蝶理(株)

豊田通商(株)

長瀬産業(株)

阪和興業(株)

(株)日立ハイテクノロジーズ

丸紅(株)

三井物産(株)

三菱商事(株)